

# ファミリー 歯科健診のお知らせ



ご家族を対象に歯科健診を実施いたします！

対象者 ▶ 被保険者 及び 被扶養者

近年、職場の環境整備が進み、働く人の心と身体健康増進が重要視されてきました。各種健康診断もその一つとして定着し現在に至っています。しかし、こと歯科の健康診断については、妊産婦、1歳半および3歳児、学校に通っている児童・生徒に対して法律で決められている口腔健診以外には、その取り組みは十分といえない状況となっています。そこで、歯科健診を実施いたしますので、この機会に是非、受診してください。

注目!

## 「歯の健康」は全身に影響します!

歯の健康は実は全身に影響します。例えば歯周病は歯を失うだけでなく、歯周病菌が血管を巡って体の各組織に悪影響を与えてしまいます。定期的な歯科健診でお口の健康をチェックしておきましょう。

### 全身に広がる歯周病の影響



#### 狭心症・心筋梗塞

心臓の血管に歯周病菌が付着し、その影響で血管が詰まりやすくなる。心臓発作による急死のリスクも増大。



#### 骨粗しょう症

歯周病菌の影響で骨の細胞が破壊されやすくなり、骨粗しょう症になりやすくなる。

そのほかにも…

#### ● 肥満

歯周病菌の出す毒素の働きで肝臓に脂肪がたまりやすくなるなど、太りやすくなる。

#### ● 早産・低体重児出産

陣痛を早める物質が血液中に増加することで、早産の原因になる。

#### ● がん

歯周病による慢性的な炎症で免疫力が低下し、がんを発症しやすくなる。

#### 脳卒中・認知症

歯周病菌の影響で血管内に血の塊ができやすくなり、脳卒中の原因になる。脳卒中が繰り返されると脳の機能低下で認知症に。

#### 肺炎

口の中の歯周病菌が肺に入り込むことで、肺炎になりやすくなる。免疫力の低い高齢者は特に注意が必要。

#### 糖尿病

インスリンの働きを妨げる物質が放出され、血糖値が下がりにくくなり、糖尿病の悪化につながる。糖尿病の合併症（糖尿病性網膜症、糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症）が進行すると、失明、壊疽、腎不全など深刻な障害が。